

令和4年度 瀬戸内市太陽のまち創生有識者会議 次第

日時 令和4年7月26日(火)

午前10時～正午(予定)

場所 瀬戸内市役所 2階 大会議室

1 開会

2 委員委嘱

3 あいさつ

4 議事

(1) 第2期瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略におけるK P Iの状況について

資料1

(2) 令和3年度地方創生関連事業の効果検証について

① 地方創生推進交付金活用事業 資料2

- ・アートからはじめる歴史と文化を活かしたまちづくり事業
- ・子どもと過ごす瀬戸内市ライフプロジェクト
- ・移住交流人口拡大のためのリモートワークタウン構築事業

② 地方創生汚水処理施設整備推進交付金 資料3

- ・きれいな水を未来へ渡すまち瀬戸内市再生計画

(3) 第2期瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略の改訂について 資料4

(4) その他

5 閉会

【配付資料】

- 次第
- 瀬戸内市太陽のまち創生有識者会議委員名簿
- 座席表
- 資料1 第2期瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略 KPI 検証資料
- 資料2 地方創生推進交付金活用事業 効果検証シート
- 資料3 地方創生汚水処理施設整備推進交付金 効果検証シート
- 資料4 第2期瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略 改訂案
- 参考資料1 瀬戸内市人口ビジョン（令和2年3月改訂版） 概要版
- 参考資料2 第2期瀬戸内市人口ビジョン・太陽のまち創生総合戦略 概要版
- 参考資料3 第2期瀬戸内市人口ビジョン・太陽のまち創生総合戦略 本体
- 参考資料4 デジタル田園都市国家構想基本方針について
- 参考資料5 子育て楽しむならせとうち（パンフレット）

瀬戸内市太陽のまち創生有識者会議委員（令和4年度）

| 区分 | 氏名 | 所属等 |
|-------|--------|--------------------------|
| 産業 | 元浜 詳一 | 瀬戸内市商工会 会長 |
| | 秋山 秀行 | 瀬戸内市観光協会 会長 |
| | 石黒 健 | 岡山市農業協同組合瀬戸内営農センター センター長 |
| 官公庁 | 木村 俊之 | 岡山県備前県民局 地域づくり推進課長 |
| 学校 | 海宝 賢一郎 | 岡山商科大学経営学部 教授 |
| 金融 | 井上 善裕 | 中国銀行 邑久支店 支店長 |
| 労働 | 藤井 秀俊 | 連合岡山 岡山地域連絡会 事務局長 |
| 言論 | 岡山 一郎 | 株式会社山陽新聞社 論説委員会 主幹 |
| NPO 等 | 石原 達也 | NPO 法人 みんなの集落研究所 代表執行役 |
| 子育て | 上野 洋子 | 瀬戸内市主任児童委員 |

第2期 瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略 数値目標及びKPI一覧

資料1

| | 指標名称 | 担当課 | 取得方法 | 基準値 (策定時:R元年度) | R4.3現在 (R3年度実績) | 目標値 (R6年度) | 備考 |
|--------------------|------------------------------|----------|-------------------|---------------------------------|------------------------|------------------------|--|
| 基本目標1 | 市内事業所就業者数 | 企画振興課 | 経済センサス (RESAS) | 13,852人(H28) ※13,969人(H28速報) | 16,800人(R3速報) | 14,318人 | 令和3年経済センサス-活動調査結果(速報) |
| | 創業塾から生まれた創業者数 | 産業振興課 | 担当課調査 | 32人(H27~H30累計) | 53人(累計) | 80人(累計) | |
| | ブランド認定商品数 | 産業振興課 | 担当課調査 | 29品(H26~H30累計) | 29品(累計) | 39品(累計) | |
| | 創業塾参加者数 | 産業振興課 | 担当課調査 | 11人(H30) | 18人 | 15人(年間) | |
| | 創業相談件数 | 産業振興課 | 担当課調査 | 46件(H30) | 70件 | 50件(年間) | |
| | 新規就業者数(農業・漁業) | 産業振興課 | 担当課調査 | 8人(H30) | 3人 | 6人(年間) | |
| | 商工業者が意欲的に事業に取り組んでいると感じる市民の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり意識調査 | 25.6%(H30) | - | 35.6% | 【参考:R4速報値】26.0% |
| | おかやま子育て応援宣言企業の登録数 | 企画振興課 | 岡山県HP | 11(H30) | 12 | 15 | 効果検証時にHPに掲載されている登録企業数 |
| | テレワーク実証事業実施人数 | 企画振興課 | 担当課調査 | 38人(H27~H30累計) | 38人(累計) | 60人(累計) | |
| 基本目標2 | 社会動態増減数 | 企画振興課 | 統計 | 242人(H27) | 242人(R2) | 322人 | (参考)R3毎月流動人口調査による社会増減 日本人 81人 外国人 △45人 |
| | 市内関連施設観光客入込数 | 文化観光課 | 担当課調査 | 932,588人(H30) | 814,727人 | 1,150,000人 | R3暦年の観光客数 新型コロナウイルス感染症感染の影響有り |
| | 瀬戸内市を誇りに思う市民の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり意識調査 | 53.6%(H30) | - | 63.6% | 【参考:R4速報値】51.1% |
| | 瀬戸内市に愛着がある市民の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり意識調査 | 82.3%(H30) | - | 87.3% | 【参考:R4速報値】82.9% |
| | 移住相談会における相談件数 | 企画振興課 | 担当課調査 | 81件(H30) | 22件 | 100件(年間) | 新型コロナウイルス感染症感染の影響有り |
| | 移住者数(相談会参加者) | 企画振興課 | 担当課調査 | 4人(H30) | 9人 | 5人(年間) | |
| | 瀬戸内市を住みやすいと感じる市民の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり意識調査 | 78.7%(H30) | - | 83.7% | 【参考:R4速報値】79.3% |
| | 市観光HP閲覧数 | 文化観光課 | 担当課調査 | 107,839(H30) | 107,788 | 150,000(年間) | R3年度観光サイトアクセス数 |
| | にぎわいと活気のある観光のまちであると感じる市民の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり意識調査 | 22.8%(H30) | - | 32.8% | 【参考:R4速報値】21.3% |
| 外国人観光客数 | 文化観光課 | 担当課調査 | 3,359人(H30) | 13人 | 4,500人 | 新型コロナウイルス感染症感染の影響有り | |
| 基本目標3 | 子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思う市民の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり意識調査 | 60.7%(H30) | - | 70.7% | 【参考:R4速報値】63.7% |
| | 合計特殊出生率 | 企画振興課 | 岡山県統計調査 | 1.27(H29) | 1.25(R2) | 1.40 | |
| | 20歳から39歳までの社会動態増減数 | 企画振興課 | 統計 | -139人(H27) | -108人 | -31人 | |
| | 婚活・結婚応援イベント参加者数 | こども政策課 | 担当課調査 | 31人(H30) | 123人(累計) | 150人(累計) | |
| | 「こどもひろば」に参加した市民の数 | こども政策課 | 担当課調査 | 496人(H30) | 2,700人 | 6,750人 | 新型コロナウイルス感染症感染の影響有り |
| | ファミリーサポートセンター事業利用件数 | 子育て支援課 | 担当課調査 | 223件(H27~H30の平均) | 120件 | 200件 | 他の子育て支援施策の充実等により依頼が減少している |
| | 積極的に育児をしている父親の割合 | 健康づくり推進課 | 担当課調査 | 60.8%(H30) | 61.7% | 65.0% | |
| | 安心して子どもを産み、育てられると感じている市民の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり意識調査 | 64.5%(H30) | - | 74.5% | 【参考:R4速報値】63.5% |
| | 学校に行くのは楽しいと思う小学生の割合(小6・中3) | 総務学務課 | 担当課調査 | 小学生:89.8%(R1) 中学生:84.8%(R1) | 小学生:86.2% 中学生:83.3% | 小学生:92.0% 中学生:87.0% | |
| | 図書館入館者数 | 市民図書館 | 担当課調査 | 186,961人(H30) | 112,847人 | 190,000人 | 新型コロナウイルス感染症感染の影響有り |
| 1人当たりのスポーツ施設年間利用回数 | 社会教育課 | 担当課調査 | 3回(H30) | 2.2回 | 4.5回 | 新型コロナウイルス感染症感染の影響有り | |

| | 指標名称 | 担当課 | 取得方法 | 基準値 (策定時:R元年度) | R4.3現在 (R3年度実績) | 目標値 (R6年度) | 備考 |
|---------------|--|--------|-----------------|-------------------|--------------------|---------------|-----------------------|
| 基本 目標 4 | 今後も瀬戸内市に住み続けたい と思う市民の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり 意識調査 | 84.4%(H30) | - | 89.4% | 【参考:R4速報値】 86.3% |
| | 計画的に土地利用が進められて いると思う土地の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり 意識調査 | 30.7%(H30) | - | 40.7% | 【参考:R4速報値】 39.1% |
| | 公共交通機関が利用しやすいと 思う市民の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり 意識調査 | 24.7%(H30) | - | 34.7% | 【参考:R4速報値】 26.0% |
| | 下水道普及率 | 下水道課 | 担当課調査 | 42.3%(H30) | 44.0% | 47.8% | |
| | 供用開始区域の水洗化率 | 下水道課 | 担当課調査 | 76.5%(H30) | 80.3% | 86.9% | |
| | 管路の耐震化率 | 上水道業務課 | 担当課調査 | 13.4%(H30) | 17.1% | 16.4% | |
| | 地域の人口は減少しているもの の、安全・安心に暮らせる住み やすいまちと感じる市民の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり 意識調査 | 78.7%(H30) | - | 83.7% | 【参考:R4速報値】 66.5% |
| | いつでも安心して医療サービス を受けられると感じる市民の割 合 | 企画振興課 | 市民まちづくり 意識調査 | 57.2%(H30) | - | 67.2% | 【参考:R4速報値】 57.2% |
| | 連携中枢都市圏による連携事業 数 | 企画振興課 | 担当課調査 | 20件(H30) | 29件 | 25件 | R4.4.1から第2期ビジョ ン開始 |
| 横 断 1 | 地域コミュニティ活動に参加して いる市民の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり 意識調査 | 49.2%(H30) | - | 59.2% | 【参考:R4速報値】 43.5% |
| | 協働提案事業数 | 企画振興課 | 担当課調査 | 6件(H30) | 10件 | 10件(年間) | |
| 横 断 2 | SDGs達成のために行動を起こし ている市民の割合 | 企画振興課 | 市民まちづくり 意識調査 | - | - | 30.0% | 【参考:R4速報値】 27.1% |

| | | | | | |
|-------------|--|------|-----|----------------|------|
| 事業番号 | 1 | 実施年度 | R3 | 検証時期 | R4.7 |
| 事業名 | アートからはじめる歴史と文化を活かしたまちづくり事業 | | 担当課 | 秘書広報課 文化観光課 | |
| 事業概要 ・目的 | <p>瀬戸内市は古くから朝鮮通信使の寄港地として栄えた港町である牛窓地区や、数々の日本刀がつくられ刀剣の里として栄えた長船地区など、歴史と文化に彩られて発展を遂げてきており、古代からの歴史や文化がおりなす市街地環境を有している。また、県内でも随一の文化財所有数を誇り、エリアごとに特有の文化を有している。日本刀や須恵器等は、国内外への発信力を持つ資源であり、それらの地域資源を最大限に活用した魅力あるまちづくりを行うことにより、交流・関係人口を増加させ瀬戸内市のファンを増やすとともに、市民のシビックプライドを醸成し、世界に誇れる歴史と文化のまちとしての魅力的なまちづくりと転出人口の減少を図る。</p> | | | | |
| 実施事業内容 | <p>【プロモーション事業】 ○シティプロモーターの配置 主に東京圏で人的ネットワークを構築しながら、市の魅力を効果的に発信し、瀬戸内市のファンを獲得し、ふるさと納税による税外収入を獲得した。 ・運用事業経費 10,150,000円 ファンクラブ会員数 (令和4年3月末 1,722人) ファンクラブ会員によるふるさと納税額 (令和3年度 3,945,000円) 情報誌を送付した前年寄附者によるふるさと納税額 (令和3年度 64,584,000円)</p> <p>○効果的な広報の実施 瀬戸内市のホームページや広報紙などを、より見やすくより良いものに改善し、市内外に瀬戸内市の魅力を発信した。 ・運用事業経費 WEBデザイナー 2,398,000円 (幼小中HPトップページを改修) 広報作成補助 2,122,989円 (広報紙紙面作成) フォトライター 963,600円 (取材、記事や写真の提供)</p> <p>○キャッシュレス決済を活用したふるさと納税や地域内循環の仕組みの構築 e街ギフト管理システムの保守・開発等を行うことで安定したサイト運営を行い、さらなる寄附獲得を目指した。 ・運用事業経費 1,166,000円</p> <p>○ファンドレイジング業務の実施 ふるさと納税の寄附者に対し、ふるさと納税やシティプロモーションに関する情報をメールで発信し、地場産業の振興と財源確保を図った。 ・運用事業経費 500,000円</p> <p>【歴史文化資源の活用事業】 ○エリアごとの文化伝承ための拠点づくり 市内の歴史文化資源保存・活用事業を行う団体へ補助金を出し、支援を行った。今年度は、伊木家歴代当主墓碑を中心とした関連史跡を保存・活用する団体と、砥石城跡を中心とした宇喜多家関連史跡を保存・活用する団体から申請があった。成果としては、地域住民の伊木家や宇喜多家の人々の業績、墓所や城跡等の歴史文化資源への関心が高まり、これからも大切にしていきたいという気持ちが育まれ、シビックプライドの醸成につながったことや、SNSで動画配信をしているため、市内外から墓所や城跡を訪れる人が増えたこと等が挙げられる。 ・補助金 1,890,610円</p> | | | | |
| 事業実績額 | 19,191,199円 (うち地域創生推進交付金 9,595,599円) ※補助率1/2 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------------|--|---------------|------------------|------------------|------------------|
| 重要業績 評価指数 (K P I) | 主な観光施設の入込客数（単位：人） | | | | |
| | | H30年度 (基準) | R1年度増加分 (1年目) | R2年度増加分 (2年目) | R3年度増加分 (3年目) |
| | 目標 | 70,412 | 1,000 | 1,000 | 1,500 |
| | 実績 | — | 15,302 | △ 33,245 | △15,701 |
| 重要業績 評価指数 (K P I) | 歴史・文化資源を活用した起業・創業者数（単位：人） | | | | |
| | | H30年度 (基準) | R1年度増加分 (1年目) | R2年度増加分 (2年目) | R3年度増加分 (3年目) |
| | 目標 | | 2 | 3 | 1 |
| | 実績 | — | 0 | 1 | 0 |
| 重要業績 評価指数 (K P I) | 今後も瀬戸内市に住み続けたいと思う市民の割合（単位：％） | | | | |
| | | H30年度 (基準) | R1年度増加分 (1年目) | R2年度増加分 (2年目) | R3年度増加分 (3年目) |
| | 目標 | 84.4% | 1.0% | 1.0% | 1.0% |
| | 実績 | — | — | △2.6% | — |
| 重要業績 評価指数 (K P I) | 社会増減増加数（単位：人） | | | | |
| | | H30年度 (基準) | R1年度増加分 (1年目) | R1年度増加分 (2年目) | R3年度増加分 (3年目) |
| | 目標 | 74 | 16 | 16 | 16 |
| | 実績 | — | 31 | △106 | △198 |
| 今後の課題 と方針 | <p>【プロモーション事業】 令和3年度も新型コロナウイルスの影響により、計画変更をせざるを得ない事業も生じた。また、ファンドレイジング業務はふるさと納税の経費率の兼ね合いがあり効果的な取り組みでないと実施できなかったため、寄附の動向を見ながら内容検討する案件となり最終的に一部実施のみとなった。営業や宣伝は限られた予算の中で効果的に実施する方法を今後も研究していくことにする。</p> <p>【歴史文化資源の活用事業】 歴史文化資源の保存・活用は、その所有者や管理者、地域住民が中心となり実施するものであるが、歴史文化資源への認識や保存・活用のノウハウを有していないことが多く、滅失の危機にある。このため、地域住民との協働や保存・活用を図る支援組織を設け、その活動を通じてシビックプライドの醸成や地域の活性化を進める。</p> | | | | |
| 今後実施予定 の主な事業 | <p>【プロモーション事業】 シティプロモーション、広聴広報支援業務の体制ができ、毎年事業評価をしながら継続して市のプロモーションを実施していく。</p> <p>【文化・歴史資源の活用事業】 市内に所在する歴史文化資源の保存・活用を目的に活動する市民団体への支援を継続して実施する(文化伝承拠点づくり補助金)。 歴史文化財団による歴史文化資源の保存・活用の推進を支援する。</p> | | | | |
| 委員意見 ・評価等 | | | | | |

地方創生推進交付金活用事業

| | | | | | |
|-------------|---|------|----|------|-----------------------------|
| 事業番号 | 2 | 実施年度 | R3 | 検証時期 | R4.7 |
| 事業名 | 子どもと過ごす瀬戸内市ライフプロジェクト | | | 担当課 | こども政策課 健康づくり推進課 企画振興課 |
| 事業概要 ・目的 | <p>瀬戸内市では、「外遊びをすること」で人と人、人と地域がつながることに手応えを感じ、既存の公園や空き地、公共施設、豊かな自然環境など地域資源について学ぶことを通じて、多世代の地域住民の交流・見守りの中、子どもの外遊びを推進し子育て環境を充実させる。また、若い世代の流出に対しては、教育環境の充実が重要であり、子どもや若者が遊ぶ場や地域のことを地域で自ら学べる場の選択肢を増やすことで、まちに子どもや若者の居場所をつくる。子ども・若者・女性の暮らしの幸福度を高める「瀬戸内市ライフ」の情報発信を定期的に行い、人口減少、少子高齢化が著しい地方都市の課題克服を目指す。</p> | | | | |
| 実施事業内容 | <p>【「こどもひろば」の推進】</p> <p>○こどもひろば開催支援業務 こどもひろばの開催支援、遊び道具を搭載し市内を巡回する移動遊び場「プレーカー」の管理、運行を瀬戸内市社会福祉協議会に委託し、子どもの外遊びを推進する専従の人材を配置した。 ・こどもひろば開催支援業務委託料 9,500,000円</p> <p>○こどもひろば推進事業支援業務 市全体で外遊びを楽しむ環境づくりを推進するための会議の実施、人材研修、講演会とイベントを企画（感染症拡大を受け開催中止）を行った。 ・こどもひろば推進事業支援業務委託料 330,000円</p> <p>○こどもひろばプロモーション業務 こどもひろばの課題を整理し、市民に取組を伝える開催申込書の作成、事業の目的を周知する掲示旗の作成、チラシなどの広報物作成を行った。 ・こどもひろばプロモーション業務委託料 299,497円</p> <p>○こどもひろばFMプロモーション業務 FM岡山の季刊発行フリーペーパー（2万部発行）に、事業の取り組みをカラー掲載した他、「外遊びを楽しむまち。瀬戸内市」として4回×7分の番組放送を行った。 ・こどもひろばFMプロモーション業務委託料 299,200円</p> <p>○こどもひろば推進員業務 豊富な経験を活かし、地域の会議をはじめとした様々な場で、事業の目的を普及啓発する人材を配置した。 ・こどもひろば推進員報償費 288,000円</p> <p>○こどもひろば関係消耗品 主に事務用品を購入した。 116,325円</p> <p>○母子健康手帳アプリ通信料 現在の母子健康手帳の機能（妊娠中の経過、子どもの成長、予防接種歴等の記録、各種健診など）をアプリで発信した。 ・母子健康手帳アプリ通信料 154,000円</p> <p>【子どもの自主学习・地域学習の推進】</p> <p>○地産地消による食育推進 子どもの自主学习・地域学習推進の一環として、地産地消による食育をテーマに、地場食材学校給食の推進、新たな学びの場となる体験学習メニュー等の開発及びこれらの情報発信を行った。 ・地産地消による食育推進委託料 1,000,000円</p> <p>○邑久高校1年生地域学習支援 市内唯一の高校である県立邑久高校の生徒に対し、地域の特色や地元企業を知ってもらい、シビックプライドの向上につなげるための支援を行った。 ・職場見学用バス借上料 220,000円</p> | | | | |
| 事業実績額 | 12,207,022円（うち地域創生推進交付金6,103,511円）※補助率1/2 | | | | |

| | | | | | |
|-------------------------|---|--------------|------------------|------------------|------------------|
| 重要業績 評価指数 (K P I) | 地域が主体となり「こどもひろば」を開催した開催数（単位：日） | | | | |
| | | R1年度 (基準) | R2年度増加分 (1年目) | R3年度増加分 (2年目) | R4年度増加分 (3年目) |
| | 目標 | 0 | 18 | 18 | 18 |
| | 実績 | — | 20 | 13 | 未 |
| 重要業績 評価指数 (K P I) | 外遊びができる遊び場「こどもひろば」に参加した市民数（単位：人） | | | | |
| | | R1年度 (基準) | R2年度増加分 (1年目) | R3年度増加分 (2年目) | R4年度増加分 (3年目) |
| | 目標 | 333 | 2,367 | 1,800 | 1,800 |
| | 実績 | — | 2,552 | △ 185 | 未 |
| 重要業績 評価指数 (K P I) | 「こどもひろば」に参加したボランティア延べ人数（単位：人） | | | | |
| | | R1年度 (基準) | R2年度増加分 (1年目) | R3年度増加分 (2年目) | R4年度増加分 (3年目) |
| | 目標 | 70 | 80 | 150 | 200 |
| | 実績 | — | 78 | 46 | 未 |
| 今後の課題 と方針 | 令和3年度は、開催回数、参加市民数、ボランティア数ともに目標に届かなかった。理由は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、公共施設の閉鎖や事業の活動中止、保育園やこども園での開催がなかったことによる影響である。その間、「おうちでこどもひろば」と題した自宅で楽しめるあそびのキット作成と配布、FacebookページやInstagram、SNSを活用した情報発信、マスコットをつくる裁縫ボランティアの募集など、市民とのつながりを大切に事業に取り組んだ。今後の課題は、既存の公園や、空き地の活用、子どもや子育て世代を中心とした多世代が参加しやすい開催時間の設定など、選択肢を増やすことである。方針としては、外遊びを楽しむ地域の取り組みを応援する機会づくりに積極的に取り組む。 | | | | |
| 今後実施予定 の主な事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、市全体が子どもの遊び場、居場所であると位置づけ、外遊びを楽しむ「こどもひろば」を令和3年度の104回開催実績から140回開催に増やす予定。その内、地域が主体となった開催については、54回開催予定である。 ・豊かな自然環境などの地域資源を活かした、子育てしやすい環境づくりを推進するため、地域の人と連携して「あそび環境づくり」の実践に取り組む。 ・ホームページや広報紙、SNSによる情報発信など、事業のプロモーションを引き続き実施し、市内外の人たちへの取組周知を行う。 | | | | |
| 委員意見 ・評価等 | | | | | |

地方創生推進交付金活用事業

| | | | | | |
|-------------|--|------|-----|-------|------|
| 事業番号 | 3 | 実施年度 | R3 | 検証時期 | R4.7 |
| 事業名 | 移住交流人口拡大のためのリモートワークタウン構築事業 | | 担当課 | 企画振興課 | |
| 事業概要 ・目的 | <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって都市部企業でリモートワークが普及・拡大したことを機に、多様化する暮らし方や生活様式に対応する新たな施策として、既存の地域資源（人、場、文化、アクティビティ、市の施策など）を組み合わせた魅力あるテレワーク・ワーケーション環境や相談体制が整備された「リモートワークタウン」を構築し、地方に仕事や交流の拠点を持とうとする企業やテレワークをしながら地方での移住や農業への従事、起業を目指す人材に向けてのPRや受入支援を展開する。</p> <p>これにより、地域資源への共感によって地方との関係づくりに関心を持つ多様な担い手や情報、スキルが全国から集まる地域となり、交流の拡大が市民の活力やQOLを向上させるとともに、地域の魅力と紐づいた新たな産業や活動を市内に引き寄せ、人口・地域ともに維持していける地域環境を実現する。</p> | | | | |
| 実施事業内容 | <p>○リモートワークタウン推進基盤の整備</p> <p>移住・交流促進の担い手である瀬戸内市移住交流促進協議会に対して補助金を交付し、移住・交流施策のオンライン化や動画コンテンツ等によるPRに対応するための情報配信拠点と必要機材を整備し、個別のオンライン相談やオンラインセミナーの開催、オンライン相談会への出展、情報コンテンツの制作・配信を実施した。また、リモートワークタウン登録会員制度の整備と当該制度と移住・交流に関連する関連を合わせて提供するためのWebサイトの改修やPRチラシ、利用検討者向けのガイドを作成するなどリモートワークタウンとしての取組や魅力をPRした。さらに、登録会員のメーリングリストの作成、取組のPRや施策検討のためのリモートワーク体験事業者に対するインタビューその他滞在中の活動記録の収集などを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リモートワークタウン構築事業補助金 3,400,000円 <p>リモートワーク体験事業者の滞在施設となる瀬戸内市お試し住宅に光インターネットを新設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置経費 18,480円 <p>前島で交流人口の増加など地域活性化に取り組んでいる前島グリーンアイランド体験交流協議会に対して補助金を交付し、島内のインターネット環境の整備をきっかけとしたリモートワーク滞在拠点の形成に向けて、活動拠点やWebサイトの改修による受入窓口等の整備、アウトドアを軸とした空き地等でのキャンプサイトや公園等のコンテンツ創出及び当該コンテンツのPRパンフレットの作成、SNSによる情報発信など島内の魅力づくりを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離島活性化推進事業補助金 2,000,000円 | | | | |
| 事業実績額 | 5,418,480円（うち地域創生推進交付金2,709,240円）※補助率1/2 | | | | |

| | | | | | |
|-----------------------|--|--------------|------------------|------------------|------------------|
| 重要業績 評価指数 (KPI) | テレワーク体験等の相談企業・個人件数（単位：件） | | | | |
| | | R2年度 (基準) | R3年度増加分 (1年目) | R4年度増加分 (2年目) | R5年度増加分 (3年目) |
| | 目標 | 0 | 20 | 40 | 40 |
| | 実績 | — | 25 | 未 | 未 |
| 重要業績 評価指数 (KPI) | 相談企業のうち、リモートワークタウン登録会員となった企業・個人件数（単位：件） | | | | |
| | | R2年度 (基準) | R3年度増加分 (1年目) | R4年度増加分 (2年目) | R5年度増加分 (3年目) |
| | 目標 | 0 | 5 | 15 | 20 |
| | 実績 | — | 10 | 未 | 未 |
| 重要業績 評価指数 (KPI) | 登録会員のうち、市内施設を利用した企業・個人件数（単位：件） | | | | |
| | | R2年度 (基準) | R3年度増加分 (1年目) | R4年度増加分 (2年目) | R5年度増加分 (3年目) |
| | 目標 | 0 | 0 | 10 | 20 |
| | 実績 | — | 5 | 未 | 未 |
| 重要業績 評価指数 (KPI) | サテライトオフィス等、市内に拠点を設置した企業・個人件数（単位：件） | | | | |
| | | R2年度 (基準) | R3年度増加分 (1年目) | R4年度増加分 (2年目) | R5年度増加分 (3年目) |
| | 目標 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 実績 | — | 2 | 未 | 未 |
| 今後の課題 と方針 | <p>コワーキングスペースを運営する団体・事業者、リモートワークの利用を許容する飲食店や宿泊施設等を運営する事業者、IJUコンシェルジュ、その他地域協力者と連携しながら、リモートワーク登録会員制度を広く周知し、多様な業態の企業や個人の体験の受入を進める。</p> <p>リモートワークタウンとしての魅力を高めていく上では、市内滞在期間中の交通や移動について課題があり、瀬戸内市移住交流促進協議会と連携しながら、体験事業者に寄り添った方策を検討する必要がある。</p> <p>こうした課題に対応しながら取組みを進めることで、目標の達成やブランド化に繋げる。</p> | | | | |
| 今後実施予定 の主な事業 | <p>令和3年度で整備した基盤とノウハウを活かした事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な移住PRコンテンツの創出と移住相談における様々な形態への対応 ・リモートワーク登録会員増加のための制度のPR ・リモートワーク体験事業者の受入の推進 ・サテライトオフィス等、リモートワーク体験事業者の市内拠点開設の促進 ・前島における空き地等を活用した移住・交流に係る魅力コンテンツの創出 ・前島内へのリモートワークスペースの整備及びPRの推進 | | | | |
| 委員意見 ・評価等 | | | | | |

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）経過報告

資料3

| | | | | | |
|-------|--------------|--------|------|---------|-----------------------|
| 都道府県名 | 岡山県 | 事業実施主体 | 瀬戸内市 | 地域再生計画名 | きれいな水を未来へ渡すまち瀬戸内市再生計画 |
| 計画期間 | 平成29年度～令和4年度 | 評価責任者 | | | |

| ①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況 | 指標 | | 基準値 | | 中間目標値 ※下段R3実績値 | | 最終目標値 | | 中間評価 | 達成状況 | | 中間目標値の実現状況に関する評価 |
|---------------------------|--|----------------------------|------------------|--------------------|--|------------|--------------------------|----------|------|----------|---------|---|
| | 指標 1 | 指標 2 | 基準年度 | 年度 | 中間実績 | 基準年度 | 年度 | 中間実績 | | 指標 総数 | 達成 数 | |
| | 瀬戸内海海域の水質改善 放流海域の水質COD (化学的酸素要求量) | 2.4mg/L 以下 | H28 | 2.1mg/L 以下 | R1 | 2.2mg/L | 2.1mg/L 以下 2.0mg/L | R3 R4 | ○ | 3 | 3/2 | 瀬戸内海海域の水質CODについては、目標値を概ね達成できた。 |
| | 若年層の定住人口の増加 社会増減増加数 (20歳から39歳まで) | — | H28 | 48 | R1 R3 | 74 113 | 80 80 | R3 R4 | ○ | 3 | 3/2 | 官民で構成する瀬戸内市移住交流促進協議会が、移住・定住に係る市のPR媒体や体験施設を効果的に活用しながらPRや受入支援に取り組んだことや、市民に対してテレワークの就業機会を提供したことなどが後押しとなり、目標値を達成できた。 |
| | 汚水処理人口普及率の向上 | 80% | H28 | 83% | R1 R3 | 86% 77% | 85% 86% | R3 R4 | ○ | | | 汚水処理人口普及率算定に誤りがあり、目標値・実績値ともに約10%多めに設定していたため指標は未達成という結果だが、下水道事業及び浄化槽事業の整備が進み、実績値はH30：74.49%、R1：75.47%、R2：76.14%、R3：77.19%と向上している（内閣府協議により目標値の修正は不要）。 |
| ②事業の進捗状況 | 事業名 | 整備量（その他の事業では取組内容） | | | 事業の進捗状況に関する評価 | | | | | | | |
| | | 計画 | 中間(R1) 実績(R3) | 最終実績 見込み | | | | | | | | |
| 特別措置を適用して行う 事業 | 特定環境保全公共下水道事業 【管渠整備】 牛窓・邑久・長船中央処理区 | 9,000m 11,000m | 6,252m 9,989m | 10,600m 11,000m | 今回の整備により、概ね目標通りの延長を整備することができたと考えている。引き続き水質汚濁や悪臭などの解消を図るため、下水道事業計画区域の面整備を推進する必要がある。 | | | | | | | |
| | 特定環境保全公共下水道事業 【ストックマネジメント計画に伴う改築】 牛窓・邑久・長船中央処理区 | 7,000m 3,000m | — 2,348m | 3,000m 2,703m | ストックマネジメント計画に伴い、管路調査を実施し緊急度の判定を行った結果、管路の状態が健全な箇所があったため、整備量が減となるが、事業費については、対象地区のマンホール蓋が標準耐用年数を大きく超過していることから改築を行うため増となる。R1に詳細設計が完了し、R2年度から工事を実施中である。 | | | | | | | |
| | 浄化槽（個人設置型） | 570基 570基 | 253基 423基 | 570基 513基 | 平成29年度から現在の令和元年度までの3か年は、計画の基準値とした平成28年度と比べ、1年での実施基数が大幅に減少した。そのため中間年度での実施基数は、計画当初の見込み計画基数より大きく減少している。これを受けて計画期間を1年延伸し、残りの年度で合併処理浄化槽についての市民への啓発やホームページでの周知を行い、実施基数を最終目標基数まで近づけた。 | | | | | | | |
| その他の事業 | 移住定住促進事業 | 市職員、移住支援団体協働の移住促進及び受入支援事業 | | | 市職員、移住支援団体等で構成する瀬戸内市移住交流促進協議会を担い手として、都市圏での移住相談会への出展やホームページその他市の媒体を活用したPRのほか、空き家バンクその他制度の利用誘導やマッチングなどの積極的な受入支援を行っている。引き続き当該担い手と連携した積極的な取組や、施策の強化により最終目標値の達成に繋げたい。 | | | | | | | |
| | 瀬戸内海海域環境回復事業 | 市職員・地域住民・漁業関係者等によるボランティア清掃 | | | H29年度に、市職員・地域住民・漁業関係者等の約100名の参加者によりボランティア清掃を実施し、瀬戸内海海域の水環境の回復を図ることができていると考えている。H30年度、R元年度においては、台風の接近により中止し、R2年度はコロナウィルス蔓延防止のため中止していたが、R3年度はボランティア清掃を実施した。今後もボランティア清掃を実施する他、観光客・地元住民の啓発を図るため、環境に係る広報活動を行い、水質改善の目標値の達成に繋げたい。 | | | | | | | |
| 計画外で独自に実施した 事業 | 汚水処理施設の接続促進 | 接続等の促進に取り込む。 | | | 供用開始となった区域において、汚水処理施設への早期接続等を促進するため、市発行の広報誌等で普及啓発を行うことにより、水洗化率の向上につながったと考えている。 | | | | | | | |
| ③評価方法 | 「数値目標に対する中間実績値」及び「整備量や取組の計画に対する中間実績」から、計画期間内の実施事業について評価を行った。 | | | | | | | | | | | |
| ④中間評価の公表方法 | 瀬戸内市上下水道部下水道課のホームページに掲載 | | | | | | | | | | | |
| ⑤計画全体の総合評価 | 地方創生汚水処理施設整備推進交付金を活用した特定環境保全公共下水道事業と個人設置型浄化槽事業を一体的に実施し、特定環境公共下水道事業については、概ね目標通りの延長を整備することができたと考えている。一方、個人設置型浄化槽事業については、社会情勢等の影響により浄化槽補助対象基数が減少したと考えている。しかし、汚水処理人口普及率は毎年度確実に向上しているため、瀬戸内海海域の水質改善にも繋がったと考えている。 | | | | | | | | | | | |
| ⑥今後の方針等 | 具体的内容 | | | | | | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少により汚水処理人口普及率が下回る恐れがあるが、他局と連携し若年層に魅力を感じてもらえるペットタウンにするために、引き続き住環境の整備を行い、汚水処理人口の向上に寄与する。また、市発行の広報誌や市ホームページを活用し、既存の単独処理浄化槽や汲み取りからの合併処理浄化槽への転換を促進する。 令和3年度に引き続き公共下水道と浄化槽の整備を一体的に促進することにより、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を促進する。 ◎特定環境保全公共下水道 <ul style="list-style-type: none"> ・管渠整備 約2261.3mを整備予定（R4年度実施予定） ・管更生詳細設計業務 ・管更生工事1000.0m（R4年度実施予定） ◎個人設置型浄化槽 <ul style="list-style-type: none"> ・90基設置予定 | | | | | | | | | | | |
| ⑦今後の方針等に対する対応 | 本地域再生計画において、特定環境保全公共下水道事業【管渠整備】については、詳細設計により下水道管の総延長が増加したこと、またボーリング調査及び現場条件から工法変更を行う必要が生じたため、整備量及び事業費の変更認定をR2年度に実施した。【ストックマネジメント計画に伴う改築】についても、管路調査を実施し緊急度の判定の結果、管路の状態が健全な箇所があったため、【管路施設】と同様変更を行う予定である。また、個人設置型浄化槽事業について、社会情勢の影響により浄化槽補助対象基数が減少した。そのため、事業期間を1年延長して合併浄化槽設置の促進を行っていきたい。 | | | | | | | | | | | |

第 2 期 瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略（変更）

| 区 分 | 変 更 前 | 変 更 後 | 備 考 | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|--|---|-----------|--------------------|----------|------|---|----------------|-----|-----------|--------------------|----------|------|---|
| 第 2 章 講ずべき対策 P. 19 | <p>基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち (2) 教育環境の充実 ③魅力あるスポーツ環境の充実 市民が健康づくりや体力づくりの活動を通じて、健やかでいきいきと暮らせるよう、スポーツ施策を充実するとともに、魅力的で使いやすい施設づくりを進める。</p> <table border="1" data-bbox="409 568 1128 687"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標 (KPI)</th> <th>基準値</th> <th>最終目標値 R6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人当たりのスポーツ施設年間利用回数</td> <td>3回 (H30)</td> <td>4.5回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(具体的な重点事業) ○体育施設管理運営事業 ○生涯スポーツ・体力づくり推進事業 等</p> | 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 | 最終目標値 R6) | 1人当たりのスポーツ施設年間利用回数 | 3回 (H30) | 4.5回 | <p>基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち (2) 教育環境の充実 ③魅力あるスポーツ環境の充実 市民が健康づくりや体力づくりの活動を通じて、健やかでいきいきと暮らせるよう、スポーツ施策を充実するとともに、<u>魅力的で使いやすい施設づくりを進める。また、スポーツ団体の支援などを通じたスポーツ・健康まちづくりの推進を図る。</u></p> <table border="1" data-bbox="1182 568 1901 687"> <thead> <tr> <th>重要業績評価指標 (KPI)</th> <th>基準値</th> <th>最終目標値 R6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人当たりのスポーツ施設年間利用回数</td> <td>3回 (H30)</td> <td>4.5回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(具体的な重点事業) ○体育施設管理運営事業 ○生涯スポーツ・体力づくり推進事業 ○<u>スポーツ団体の育成を通じた地域の活性化</u> 等</p> | 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 | 最終目標値 R6) | 1人当たりのスポーツ施設年間利用回数 | 3回 (H30) | 4.5回 | 令和 3 年 6 月 18 日閣議決定「まち・ひと・しごと創生基本方針 2021」スポーツ・健康まちづくり |
| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 | 最終目標値 R6) | | | | | | | | | | | | | |
| 1人当たりのスポーツ施設年間利用回数 | 3回 (H30) | 4.5回 | | | | | | | | | | | | | |
| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 | 最終目標値 R6) | | | | | | | | | | | | | |
| 1人当たりのスポーツ施設年間利用回数 | 3回 (H30) | 4.5回 | | | | | | | | | | | | | |
| P. 20 | <p>基本目標 4 ひとが集い、安心して暮らせる魅力的なまち (1) 時代にあった住環境の整備 ①時代にあったまちづくりの推進 人口減少や高齢化により、コンパクトで利便性の高いまちへと転換していくことが望まれている中で、公共施設等の機能の集約化や、地域における小さな拠点づくりなどを通して、全ての地域が孤立しない状況を保ち、時代にあったまちづくりを展開する。また、運転免許を持たない若者や高齢者等の生活に必要な移動手段を確保するため、市内の各地域を結ぶバス等公共交通の充実・活性化を進めるとともに、官民協働による交通手段の確保を検討する。</p> | <p>基本目標 4 ひとが集い、安心して暮らせる魅力的なまち (1) 時代にあった住環境の整備 ①時代にあったまちづくりの推進 人口減少や高齢化により、コンパクトで利便性の高いまちへと転換していくことが望まれている中で、公共施設等の機能の集約化や、地域における小さな拠点づくりなどを通して、全ての地域が孤立しない状況を保ち、時代にあったまちづくりを展開する。また、運転免許を持たない若者や高齢者等の生活に必要な移動手段を確保するため、市内の各地域を結ぶバス等公共交通の充実・活性化を進めるとともに、官民協働による交通手段の確保を検討する。<u>さらに、脱炭素の取組を積極的に進めることにより、地方経済の活性化や地域課題の解決につなげ、地方創生と脱炭素の好循環を実現する。</u></p> | 令和 3 年 6 月 18 日閣議決定「まち・ひと・しごと創生基本方針 2021」地域のエネルギー資源を活用したまちづくり | | | | | | | | | | | | |

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 | 最終目標値 R6) |
|--------------------------|----------------|-----------|
| 計画的に土地利用が進められていると思う市民の割合 | 30.7% (H30) | 40.7% |
| 公共交通機関が利用しやすいと思う市民の割合 | 24.7% (H30) | 34.7% |

(具体的な重点事業)

- 開発調整事業
- 小さな拠点づくり事業
- 公共交通活性化事業
 - ・地域公共交通網形成計画の策定
 - ・公共交通事業者への支援
 - ・官民協働による交通手段の確保
 - ・JR駅周辺の整備 等
- 市営住宅の長寿命化事業
- 住環境整備事業
 - ・住宅・建築物安全ストック形成事業
 - ・狭あい道路整備等促進事業 等
- 牛窓リノベーションまちづくり事業
- 海ゴミ対策 等

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 | 最終目標値 R6) |
|--------------------------|----------------|-----------|
| 計画的に土地利用が進められていると思う市民の割合 | 30.7% (H30) | 40.7% |
| 公共交通機関が利用しやすいと思う市民の割合 | 24.7% (H30) | 34.7% |

(具体的な重点事業)

- 開発調整事業
- 小さな拠点づくり事業
- 公共交通活性化事業
 - ・地域公共交通網形成計画の策定
 - ・公共交通事業者への支援
 - ・官民協働による交通手段の確保
 - ・JR駅周辺の整備 等
- 市営住宅の長寿命化事業
- 住環境整備事業
 - ・住宅・建築物安全ストック形成事業
 - ・狭あい道路整備等促進事業 等
- 牛窓リノベーションまちづくり事業
- 海ゴミ対策
- 地域のエネルギー資源を活用したまちづくり 等